

Scope KANSAI

企業スポット

ピーテック (大阪市)

健康関連機器をトータルにプロデュース

圧倒的な高画質を実現したデジタル位相差顕微鏡を製造している(株)ピーテック(大阪市)。同社は徹底的なコスト削減と使いやすさを追及した結果、業界では不可能とされていた顕微鏡の宅急便での輸送をも可能にした。簡単にその場で血液の状態を確認することができるため、病院だけでなく健康食品の販促にも役立つとして多業種から注目を集めている、同社の藤井義久社長を取材した。

(株)ピーテックの設立は2004年8月。もともと藤井社長は医療機器部品メーカーの製造部門で勤務していたが、技術職の人間がお客様に直接説明した方が内容のある提案ができると思い営業に転向。その後、顕微鏡に携わる仕事をした際に、この事業で独立することを決意した。

「会社を設立した当時はちょうど健康ブームの真ただ中で、サラサラ血液・ドロドロ血液といった言葉に多くの方が敏感になっていました」と藤井社長は振り返る。実際にテレビやマスコミでも血液チェックについて頻繁に取り上げられ、話題性は抜群だったという。「サプリメントを販売する業者が増え、血液中のその効果を確認するのに当社の顕微鏡がちょうどよかったのです。もともとは虫歯菌をチェックするために歯医者さんをターゲットにしていたのですが、一般の病院や整骨院、大学や健康組合などからの引き合いが多く、血液検査など健康をチェックするために使われるようになりました」と同氏は話す。歯医者では、患者に口の中の細菌を顕微鏡で見ってもらうことにより、歯磨きに対する意識を高めてもらえる。また患者への付

加価値サービスの一環として、他院との差別化にもつながっている。病院でも医師、患者の双方がリアルタイムで血液状態を確認できるため、血液検査と組み合わせることによって数値的、視覚的にも説得力あるアドバイスや診断が行える。患者とのコミュニケーションにも貢献するなど、位相差顕微鏡の果たす役割はとても大きい。

同社の顕微鏡の一番の特徴は、軽量アルミモノコック構造による一体成型で高い剛性と耐久性を誇り、大口径位相差レンズを採用することにより国産位相差顕微鏡では最高クラスの画質を実現した。「特定のモノを映し出すときには他社には絶対に負けません」と藤井社長は自信を持つ。色合い、明るさ等の画像調整はフルオートで行うことができ非常に使い勝手がよく、顕微鏡に関する特別な知識がなくても簡単に操作することができる。

また、注文を受けてからできるだけ早くお客様のもとに届けられるように、付属の梱包ケースを利用して宅急便で送るようにした。「この業界では、顕微鏡を宅急便で発送するなど到底不可能だと考えられていました」と藤井社長は話すが、同社は一体成型で小型化することにより宅急便で輸送できるほどの軽量化を実現した。到着後、付属のケーブルをテレビやパソコンに接続するだけですぐに観察できるうえ、大きな画面で一度に複数の方が観察することができる。

最近では、指に針を通さなくても指の上から毛細血管を映し出すことができる新たな顕微鏡を開発した。今年の7月から販売を開始したが、藤井社長は一ヶ月に数十台売れば十分だと言う。「ゆっくりでも一歩ずつ進めば、一年経ってトータルして見ると大きく伸びているものなんです」と話すように、今後も着実に事業を成長させていくことを目指している。



「一つひとつの積み重ねが大切」と話す藤井社長

(株) ピーテック

所在地：大阪市都島区片町2-1-40
エスト・ヌーヴォー9階

電話：06-6136-1411

代表：藤井 義久氏

設立：2004年8月

売上高：2億1300万円(2005年6月期)

事業内容：光学機器・医療機器卸

URL：<http://www.ptech.jp/>